



# 環境経営レポート2021

(2021.5.1～2022.4.30)



2022. 5. 27発行

 **クスノキ化学株式会社**

# 目次

- 1. 環境経営方針
- 2. 取組の対象組織・活動の明確化
- 3. 実施体制
- 4. 主な環境負荷の実績
- 5. 環境経営目標及びその実績
- 6. 環境経営活動計画及び取組結果とその評価、次年度の取組内容
- 7. 環境関連法規制等の順守
- 8. 環境配慮型製品の技術開発・製造・販売
- 9. 代表者による全体の取組状況の評価と見直し・指示

# 1. 環境経営方針

## 【環境経営理念】

クスノキ化学株式会社は、限りある地球資源の有効活用に努め、地球環境・人体に配慮した製品を開発し、市場に提供することによる汚染を防止し、地球環境の保全に貢献します。

## 【環境保全への行動指針】

1. 具体的に次のことに取り組みます。

- ① 電力・燃料の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減
- ② 使用原材料の省資源、廃棄物の3R（減量、再使用、再生利用）の推進
- ③ 水資源の節水
- ④ 環境配慮製品の技術開発・製造・販売
- ⑤ 有害化学物質の削減

これらについて環境目標・活動計画を定め、定期的に見直しを行い、継続的な改善に努めます。

2. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。

3. この方針と環境への取り組みを従業員に周知徹底するとともに、環境経営レポートとして取りまとめ公表します。

制定日:2019年5月15日  
クスノキ化学株式会社

## 2. 取組の対象組織・活動の明確化

### 組織の概要

- (1) 名称及び代表者名       クスノキ化学株式会社  
                                  代表取締役 三好恭司
- (2) 所在地                    本社     大阪府富田林市若松町東1丁目205番地
- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
- 責任者                               三好正章       TEL : 0721-26-2271
- 担当者                               平田真穂       TEL : 0721-26-2271
- (4) 事業内容                       洗剤・剥離剤・塗料の製造及び販売
- (5) 事業の規模

	本社
従業員	7名
延べ床面積	3,332㎡

### 認証・登録の対象組織・活動

- 登録組織名   :   クスノキ化学株式会社   本社
- 対象外       :   なし
- 活動         :   洗剤・剥離剤・塗料の製造及び販売

### 事業や製品(商品)の紹介

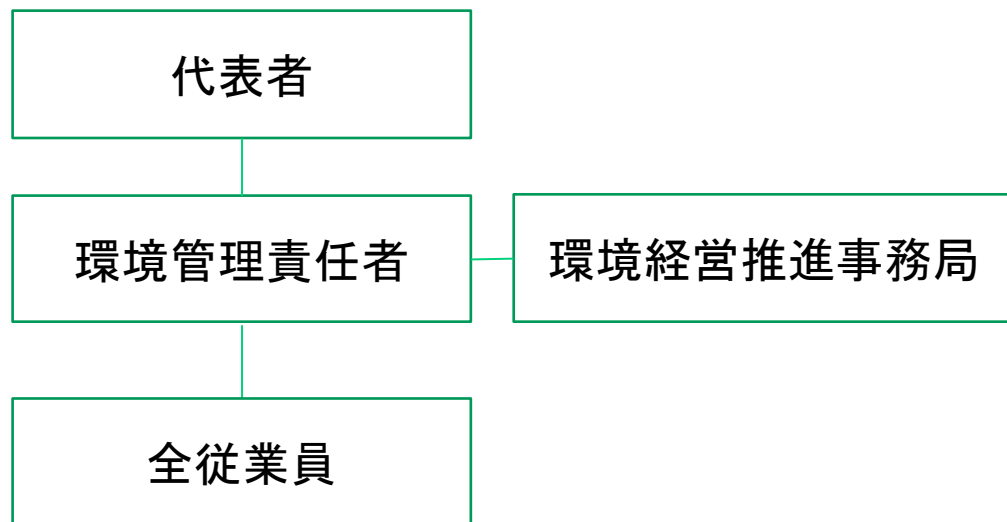
家庭用、工業用各種表面処理剤の開発及び製造販売

塩素系溶剤を含有しない洗剤や剥離剤の開発を得意とする。

人体や環境に配慮した安全性が高く、高性能な表面処理剤を有する。

# 3. 実施体制

## ■ 環境経営組織図

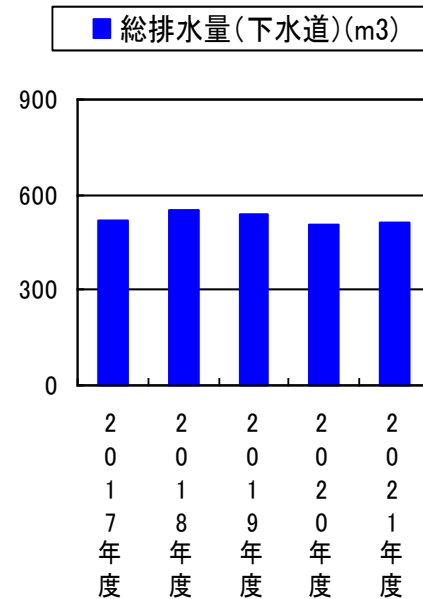
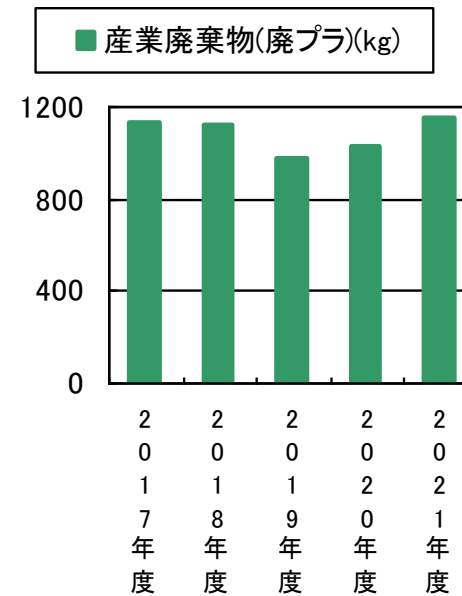
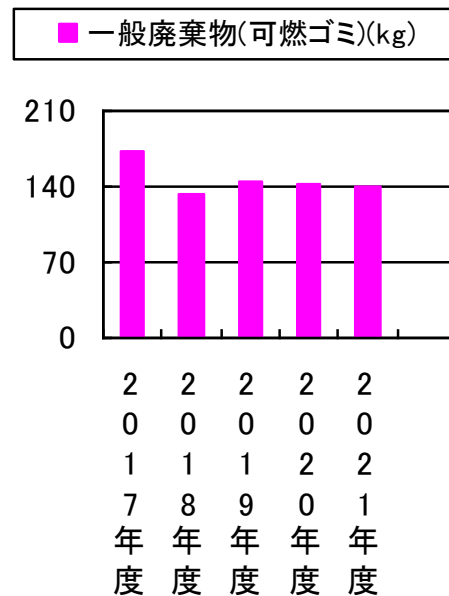
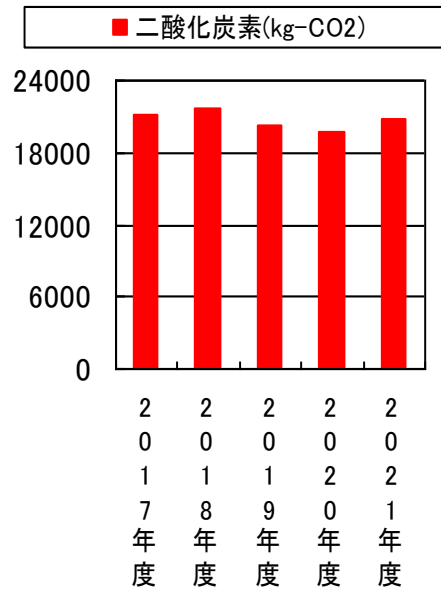


## ■ 役割・責任・権限

代表者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営に関する統括責任</li> <li>・環境経営システムの実施及び管理に必要な人、設備、費用、時間能技術者を用意</li> <li>・環境管理責任者を任命</li> <li>・環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知</li> <li>・法規制等の要求事項登録簿を承認</li> <li>・環境目標の設定を承認</li> <li>・全体の評価と見直しを実施</li> <li>・環境活動レポートを承認</li> </ul>
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営システムの構築、実施、管理</li> <li>・環境活動実施計画書を承認</li> <li>・環境活動の取組結果を代表者へ報告</li> <li>・環境活動レポートの確認</li> </ul>
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境管理責任者、EA21推進会議の事務局</li> <li>・環境への不可の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施</li> <li>・環境関連法規等チェックリストの作成</li> <li>・環境目標・環境活動実施計画書原案の作成</li> <li>・環境活動実施計画の実績集計</li> <li>・環境関連の外部コミュニケーションの窓口</li> <li>・環境活動レポートの作成、公開</li> </ul>
部門長及び全従業員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境目標・環境活動計画の実施及び達成状況の報告</li> <li>・問題点の発見、是正、予防処置</li> </ul>

# 4. 主な環境負荷の実績

項目	単位	2017年度 (基準年度)	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
二酸化炭素排出量	kg-CO <sub>2</sub>	21,142	21,737	20,248	19,700	20,825
廃棄物排出量						
1)一般廃棄物排出量(可燃ゴミ)	kg	172	132	144	143	139
2)産業廃棄物排出量(廃プラ)	kg	1,124	1,124	969	1,023	1,146
総排水量(下水道)	m <sup>3</sup>	517	550	538	503	513
水使用量	m <sup>3</sup>	854	900	840	785	835



# 5. 環境目標及びその実績

項目 \ 年度		2017年度	2021年度		2022年度	2023年度
		(実績)	(目標)	(実績)	(目標)	(目標)
電力の二酸化炭素排出量削減	kg-CO <sub>2</sub>	9,806	9,718	9,283	9,689	9,649
	基準年度比		99.1%	94.7%	98.8%	98.4%
ガソリンの二酸化炭素排出量削減	kg-CO <sub>2</sub>	2,779	2,762	2,939	2,754	2,746
	基準年度比		99.4%	105.7%	99.1%	98.8%
灯油の二酸化炭素排出量削減	kg-CO <sub>2</sub>	8,557	8,480	8,602	8,480	8,454
	基準年度比		99.1%	100.5%	99.1%	98.8%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO <sub>2</sub>	21,142	20,960	20,825	20,897	20,815
	基準年度比		99.1%	98.5%	98.8%	98.4%
一般廃棄物 (可燃ゴミ)の削減	Kg	172	170	139	169	169
	基準年度比		98.8%	80.8%	98.4%	98.1%
産業廃棄物 (廃プラ)の削減	Kg	1,124	1,111	1,146	1,111	1,106
	基準年度比		98.8%	101.9%	98.8%	98.4%
産業廃棄物 (金属くず)の削減	Kg	987	975	525	971	968
	基準年度比		98.8%	53.2%	98.4%	98.1%
水道水の削減	m <sup>3</sup>	854	846	835	844	840
	基準年度比		99.1%	97.8%	98.8%	98.4%
PRTR対象物質の削減	Kg	4,201	4,151	2,992	4,151	4,121
	基準年度比		98.8%	69.6%	98.4%	98.1%
環境配慮型製品の技術開発・製造・販売	品目	1	1	1	1	1

※電力のCO<sub>2</sub>排出係数は「関西電力2017年度調整後排出係数 0.418 kg-CO<sub>2</sub>」適用

## 6. 環境活動計画及び取組結果とその評価、次年度の取組内容

目標達成手段	達成状況	評価(結果と次年度の取組内容)
①電力の削減 こまめに消灯する PCの電源を切る 冷房26～28℃ 暖房22～25℃	目標:9,718(kg-CO <sub>2</sub> ) 実績:9,283 対目標:4.5%減 対基準年度:5.3%減 <b>目標達成</b>	<b>【評価】</b> 今期は電力を消費している製品の生産量が減少したことにより、削減目標を達成できた。 今後とも省エネ化を追求する。  <b>【次年度の取組】</b> 節電を徹底する。 老朽化した蛍光灯は順次LEDに切り替える。 昼休みの消灯
②ガソリンの削減 アイドリング禁止 定期的な車両整備 エコドライブ運転展開 急加速の抑制 冷暖房の控え目使用	目標:2,762(kg-CO <sub>2</sub> ) 実績:2,939 対目標:6.4%増 対基準年度:5.7%増  <b>目標未達成</b>	<b>【評価】</b> 今期は社外での洗浄試験やプレゼンテーションに加えて、社会貢献事業として遠方の子ども食堂に支援物資を届ける等機会が増加したため、ガソリンの消費量も増加した。 今後とも省エネを心掛ける。  <b>【次年度の取組】</b> 来年度の目標値は変更せず、削減により一層努める。 アイドリングストップの徹底 エコドライブの励行 公共交通機関の積極的活用



目標達成手段	達成状況	評価(結果と次年度の取組内容)
<p>③灯油の削減</p>	<p>目標:8,480(kg-CO<sub>2</sub>/kWh)            実績:8,602            対目標:1.4%増            対基準年度:0.5%増</p> <p><b>目標未達成</b></p>	<p>【評価】            今期はボイラーを使用(加温)して生産する製品の生産量が増加したことにより、削減できなかった。</p> <p>【次年度の取組】            来年度の目標値は今年度と同じ99.1%に設定する。            ボイラーの稼働時間の更なる短縮に留意する。</p>
<p>④一般廃棄物(可燃ゴミ)の削減</p> <p>分別を行う            梱包材を再利用する            裏紙の使用            段ボールをリサイクル</p>	<p>目標:170(kg)            実績:139            対目標:18.2%減            対基準年度:19.2%減</p> <p><b>目標達成</b></p>	<p>【評価】            廃棄物の減少化が確実に実施されている。</p> <p>【次年度の取組】            3Rを更に徹底する。</p>

目標達成手段	達成状況	評価(結果と次年度の取組内容)
⑤産業廃棄物(廃プラ)の削減 再利用	目標:1,111(kg) 実績:1,146 対目標:3.1%増 対基準年度:1.9%増  <b>目標未達成</b>	<b>【評価】</b> ポリ袋に入った原料を使用する製品の製造量が基準年度の1.2倍増加したため。  <b>【次年度の取組】</b> 来年度の目標値は今年度と同じ98.8%に設定する。
⑥産業廃棄物(金属くず)の削減	目標:975(kg) 実績:525 対目標:46.1%減 対基準年度:46.8%減  <b>目標達成</b>	<b>【評価】</b> 金属くずの殆どは製品製造用の原料の包装資材である。 金属缶に入った原料の消費量が減少したため目標が達成できた。  <b>【次年度の取組】</b> 引き続き適切に処理・分別する。

目標達成手段	達成状況	評価(結果と次年度の取組内容)
⑦水道使用量の削減 節水を心掛ける	目標:846(m <sup>3</sup> ) 実績:835 対目標:1.3%減 対基準年度:2.2%減  <b>目標達成</b>	<b>【評価】</b> 今期は製造釜の洗浄に高圧洗浄機の使用頻度を増やしたことにより、少量の水で洗浄できるようになったことにより削減目標を達成できた。  <b>【次年度の取組】</b> 節水を徹底する。
⑧PRTR対象物質の削減 非PRTR対象物質を積極的に採用する	目標:4,151(kg) 実績:2,922 対目標:29.6%減 対基準年度:30.4%減  <b>目標達成</b>	<b>【評価】</b> 今期はPRTR対象物質を含有している製品から非含有製品への切り替えが進んだことにより、目標を達成できた。  <b>【次年度の取組】</b> 新規開発品には、できる限りPRTR対象物質を使用しないようにする。
⑩環境配慮型製品の技術開発・製造・販売		<b>【評価】</b> 今期は、下記1品目開発した。 ①換気扇、換気フードに固着した油汚れ用洗浄剤の開発

# 7. 環境関連法規制等の順守

適用される法規則	適用される事項(施設・物質・事業活動等)	適合／不適合
騒音規制法 ※	空気圧縮装置、集塵装置、攪拌機	適合
振動規制法 ※	空気圧縮機	適合
消防法 ※	充填場所、保管場所、自動火災報知器、消火器、生石灰	適合
廃棄物処理法 ※	一般廃棄物、産業廃棄物(廃プラ類、廃ガラス、金属くず、廃水銀)	適合
水質汚濁防止法	4号ニ 混合施設 6基	適合
労働安全衛生法	超音波洗浄機、表示・通知対象物(675物質)に該当する化学物質	適合
化管法(PRTR対象物質)	指定化学物質(第1種、第2種)	適合
毒劇物取締法	水酸化ナトリウム、塩酸、硝酸、事故時の届出	適合
フロン排出抑制法	業務用空調機	適合
家電リサイクル法	エアコン、テレビ、冷蔵庫、洗濯機、冷風機、プリンター	適合
小型家電リサイクル法	ドライヤー、懐中電灯、時計、 補助記憶装置(ハードディスク、USBメモリー、メモリーカード)、デジタルカメラ	適合

※…関連する条例含む

環境関連法規制等の遵守状況の定期検査の結果、逸脱はありませんでした。又、過去3年間にわたって訴訟もありません。

## 8. 環境配慮型製品の技術開発・製造・販売

### 【新製品開発における環境に配慮した具体的な取組】

- 脱 塩素系溶剤
- 脱 PRTR対象物質
- 脱 毒物及び劇物取締法
- 脱 有機溶剤中毒予防規則

### 【2021年度実績】(目標1品目→実績1品目)

#### 換気扇、換気フードに固着した油汚れ用洗浄剤の開発

厨房等に設置されている換気扇や換気フード等の油汚れ用の洗浄剤は多数市場に出回っていますが、洗浄力と作業効率を高めるために劇物に該当する水酸化ナトリウムや水酸化カリウム等を主成分としたものが殆どで、油汚れは落とせても人体や素材に対する影響が強いばかりでなく、取り扱いにも十分な注意が必要となります。

このような洗浄剤をアルミ製の換気扇等に使用すると、油汚れは落とせても素材のアルミを腐食させ発錆を生じさせてしまい、製品の寿命縮めてしまっています。

他にも、換気扇の素材表面を荒らしてしまうため、洗浄後はかえって油汚れが付着し易くなり、また除去し難くさせているのが現状です。

この度、弊社が開発した油汚れ用洗浄剤は、劇物である水酸化ナトリウム等は使用せず、アルミ素材にも影響を与えず、洗浄力は従来の水酸化ナトリウム等を配合する洗浄剤よりも洗浄力のある洗浄剤を開発致しました。

該製品は、PRTR法、労安法表示・通知対象物質毒物及び劇物取締法、有機溶剤中毒予防規則に該当しません。

# 9. 代表者による全体の評価と見直し・指示

見直し関連情報	項目		確認（必要に応じて評価・コメント記載）		項目		確認（必要に応じて評価・コメント記載）	
	1	エコアクション21文書	<input checked="" type="checkbox"/>	記録・文書として作成した。	5	外部コミュニケーション・対応記録	<input checked="" type="checkbox"/>	特になし。
	2	環境経営目標及び目標達成	<input checked="" type="checkbox"/>	電力、一般廃棄物、水道使用量、PRTR対象物質の削減達成	6	問題点の是正・予防措置の実施状況	<input checked="" type="checkbox"/>	特になし。
	3	環境経営活動計画及び取り組み実施状況	<input checked="" type="checkbox"/>	継続して取り組む	7	その他 ( )	<input type="checkbox"/>	
	4	環境関連法規要求一覧及び遵守状況	<input checked="" type="checkbox"/>	記録に記載した。				

代表者による全体評価・見直し指示	項目		確認（必要に応じて評価・コメント記載）					
	2 全体評価・コメント (環境経営システムの有効性、環境への取組の適切性等)		<p>今期は、ガソリン、灯油、産業廃棄物(廃プラ)の削減目標を達成することができなかったが、その他の削減目標を達成することができた。今期の具体的な取組の一環として、下記の経営資源の投入を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・労働安全衛生の向上 自動充填装置を導入し、飛散付着の可能性のないようにした。 工場及び危険物倉庫の金属部の腐食の除錆、コンクリート床面のクラックの補修及び塗装を行った。</li> </ul> <p>次年度も、目標達成に向けて社員一同取り組むとともに、環境及び人体に配慮した製品の開発・製造・販売を促進する。</p>					
		見直し項目	変更の必要性	「有」の場合の要求指示事項		見直し項目	変更の必要性	「有」の場合の要求指示事項
	1	環境経営方針	有 ・ <input type="radio"/> 無		4	その他のシステム要素	有 ・ <input type="radio"/> 無	
2	環境経営目標／環境経営活動計画	<input type="radio"/> 有 ・ 無	※灯油、産業廃棄物の削減に関して、目標未達成だったので目標を変更した。	5	その他(外部への対応)	有 ・ <input type="radio"/> 無		
3	環境に関する組織	有 ・ <input type="radio"/> 無						

●次回環境経営レポート発行日:2023年5月予定